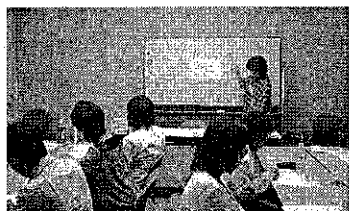


平成22年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

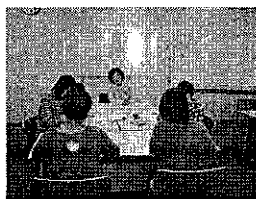
事業名	メディエーション(和解支援)紹介普及活動		
団体名	草の根メディエーション(和解支援)の会		
事業費	87,476円	補助金額	73,000円

事業の目的・内容	目的: ①敵対して勝ち負け白黒をつける以外にも、解決できて、しかも良い関係を取り戻せる方法があることを知ってもらい、日々の暮らしに役立ててもらおう。 ②地域に気軽に立ち寄れる「和解支援室(コーナー)」を作りたいので、仲間を増やす。 ③支援室開設に向け、実践実績を作る(相談があれば応じる)。
	内容: ①メディエーション基礎講座として3回の講座を開催する。 ②コア・会員となってもらえ、受講者対象にメディエーター養成目的を兼ね定期的なセミナーを開催する。 ③会主催講座以外にも出前ワークショップを提供する。 ④メディエーションと会を紹介するリーフレットを作成し、講座以外(他市民活動グループ、いちよう祭、エンツリー主催「学びの先へ」など)でもPRする。

事業の活動実績	①3回の基礎講座「対立解消と上手なコミュニケーション」詳細: 第1回 2010年9月19日(学園都市センター) 参加者10人(申し込み14):30~60代 内男性一人 会側から2人が参加、講師を入れて13人で、セミナー室が少し狭かった。 第2回 2010年12月12日(八王子クリエートホール) 参加者4人(申し込み6):30~50代 ★前回程度の参加者を期待したが、少なかった。12月という“忙しい”季節でありながら広報に出遅れたことも原因と思われる。 第3回 2011年3月21日(学園都市センター) 参加者7人(申し込み9):20~60代 内男性2人 ☆お彼岸、さらには地震・計画停電などの状況下、予想以上の参加者数だった。 ☆市民メディエーション研究をしているという大学院生(九州から)が活動に興味を持って、参加してくれた。
	②定例セミナー:5月23日(2人)、7月29日(3人)、10月14日(5人)、11月11日(3人)、2月10日(3人) ③エンツリー主催「学びの先へ」出展応募:22年度はセミナー形式だったため出展は無。リーフレットの配布のみ。 ④ミニ講座:カウンセリング・グループ「あぶりこっと」でミニ・ワーク・ショップ実施(2011.2.7)。 ⑤リーフレットの作成:市内公共施設に配布していただくべく700枚印刷、配布依頼。



第1回講座



第2回講座



第3回講座

様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>☆前年度6回の講座で35人の参加に比して、22年度は3回の講座で21人の参加がありました。日程の選択、適切な広報があればさらなる参加者数の増加を期待できると思います。</p> <p>☆2年目に入り、回を重ねる毎に、市内の施設に置いてもらう講座開催チラシの減り具合が増えています。「去年のチラシを取ってある」「中々都合がつかない、今度はいつ？」等のお問い合わせも数回ありました。</p> <p>☆講座全参加者21人中、20人が講座で学んだことは役に立つと回答。</p> <p>☆最後の講座ではメディアエーションのコンセプトについて活発な議論も出て、参加者さんの感心の高まりを感じています。23年度の勉強会の輪の広がりが期待できそうです。</p> <p>☆念願の市民メディアーター候補者を得ました。23年度は市民メディアーターの育成にはいります。</p> <p>☆市民和解支援室(相談室)：他団体さんとの共同で西八王子に物件を確保。開室準備中。5月正式オープン予定となっています。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1-できた 2 概ねできた 3-あまりできなかった 4-ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1-できた 2 概ねできた 3-あまりできなかった 4-ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1-ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3-大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) ・講座参加費：今後の講座開催収支のことも考えて、前年同様¥1000としました。 ・消耗品費/印刷費：リーフレット印刷について外注を予定していましたが、地震の影響もあり予算内での3月中印刷はできず、自宅印刷に変更し、インク/紙を購入しました。 ・交通費：勉強会について、ほぼ会員だけの参加となりましたので、自費扱いとしました。
	その他、評価すべき点等	<p>☆何よりも人とのつながりが広がったことは成果の一つです。さらなる活動には市民メディアーターの育成が不可欠ですが、1年目よりは2年目、そして3年目に入るにあたり仲間が確実に増えてきている、と感じています。</p> <p>☆メディアエーション研究者の参加者の方に、「一般市民による市民メディアエーション活動の先駆者」と評価していただいたことは大きな励みです。</p> <p>☆解決に至らずとも、弱い立場の当事者がメディアーターに話を聞いてもらうことで気持ちが楽になる…うつ病などの予防効果があることを実際の相談で再認識しています。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

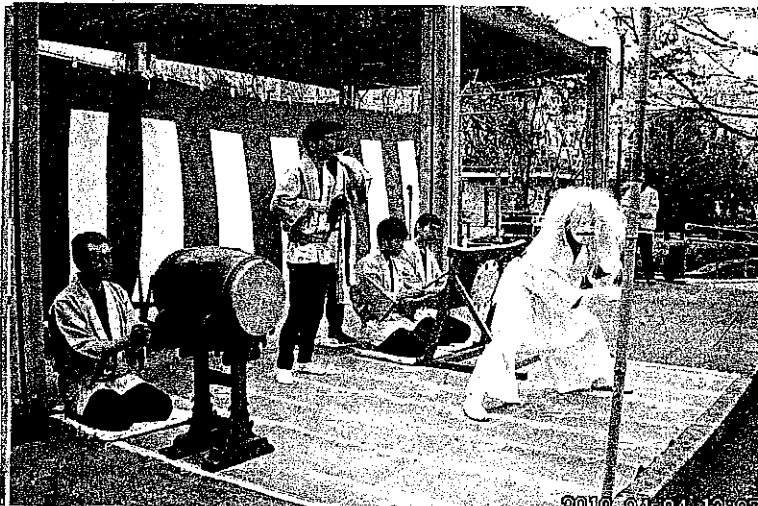
今後の事業展開	<p>☆市民和解支援室(事務所・相談室)を拠点に、これまでの活動に加え、「子供の虐待防止市民ネットワーク多摩の会」との協働で、メディアエーション的な観点での虐待問題対応、紛争/対立予防を踏まえて、しゃべり場などの企画を展開していく予定です。</p> <p>☆「メディアーター養成」を踏まえて勉強会を強化します。</p> <p>☆23年度は中学に相談員として入ることになりましたので、教育現場の問題や子供のピア・メディアエーションに引き続き取り組んでいきます。</p>
---------	---

平成22年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子陵南公園さくら祭り		
団体名	特定非営利活動法人 八王子さくらの会		
事業費	1,649,849円	補助金額	824,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>この祭りを通じて八王子市のサクラの名所とし市役所前の浅川河畔から多摩森林科学園までの桜は約2,300本あり確固たる存在価値を内外に知ってもらう事、市内の商店の出店により宣伝効果、地元の伝統芸能の周知、また豊かな自然環境と保存樹木の維持管理を官民協働で実践している事やイベントの開催による新観光名所として八王子3大祭りに定着させたい。</p>
	<p>内容</p> <p>都立陵南公園で4月2・3・4日3日間のさくら祭り、プレイベントとして河川や公園の清掃活動、舞台では多彩な音楽や舞踊の他、暴漢対策、野外広場では子ども茶道や竹馬など、ほか出店 PR 手段ポスター、プログラムなど CTV や広報、新聞,HP などメディアの活用など話題重視で宣伝する。</p>

事業の活動実績	<p>さくら祭り4月2日(金)10,000人,3日(土)52,000人,4日(日)55,000人計約117,000人の来園者がありました。出店66店舗 出演36団体など。</p> <p>来園者のごみの持ち帰りを常時放送しマナーの向上を呼びかけた結果、祭り終了時の清掃活動時もゴミの数も少なく今後の啓蒙活動をする事に意義を感じております。</p> <p>さくら祭りのエリアは多摩森林科学園のサクラ保存林、陵南公園、南浅川緑地市役所までのさくら並木、これらのさくらの調査保護する事も目的の一つです。</p> <p>さくら祭りの前後は陵南公園、南浅川緑地の清掃活動も重要なことでもあります。</p>
---------	--



事業の成果・効果

3日間で約117,000人の来園者は主催者にとって予想外の多さでした。

スタッフ一同食事を摂る暇も無く、ごみの持ち帰り等再三マナーを訴えました、それでも不法投棄が散見されその処理等忙しい事も逆に快感と思えた。

また車で来園者も多く交通整理や不法駐車については今後の課題です。

この祭りに来られた人達は陵南公園の桜、南浅川緑地の桜のトンネル、そして市役所本庁舎までの桜遊歩道の桜並木、又健脚の人は多摩森林科学園のサクラ保存林を楽しみ、八王子のサクラの名所の所在を再確認される事と確信しております。

八王子市の観光の目玉とし、このサクラの時期大いに祭りと共に内外に宣伝し今後この祭りを軸とした活動を末永く続けます。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 費目間で多少の流用があった。
	その他、評価すべき点等	「八王子陵南公園さくら祭り」の回を重ねる事によって市の春、夏、秋と三大祭りに昇華するべく感触を得ております。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開

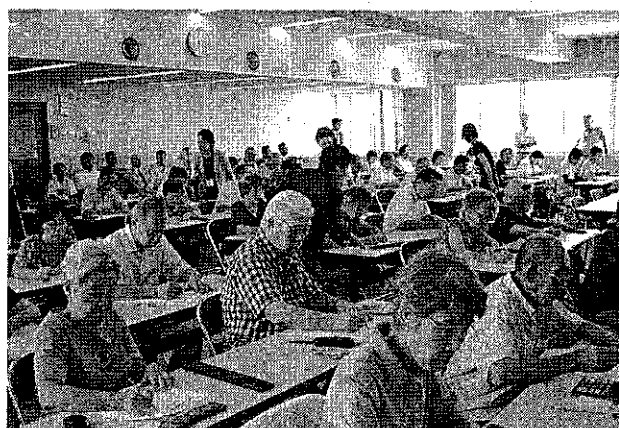
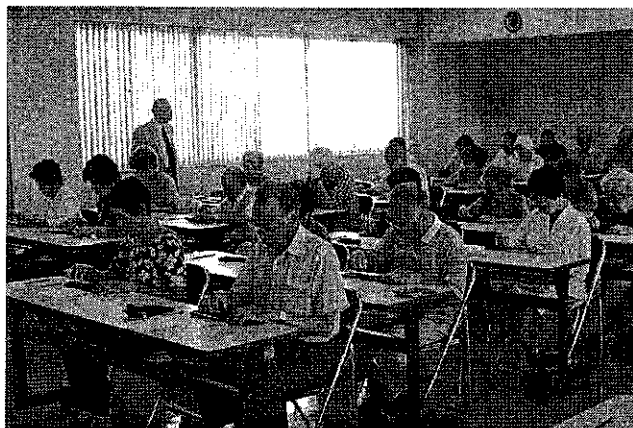
1. 「八王子姫桜そっくりさん」5人娘を募集し祭り会場にて審査発表
2. 八王子さくら巡りと楽しい歴史ロマン探訪マップ「八王子さくら街道」「さくら並木遊歩道」歩いて発見！？散策お楽しみ 遊歩マップに番号記入してもらう
3. 出店は八王子市内を限定し商店街の活性化を目的に出店募集します
4. 八王子伝統芸能、八王子在住の芸能人の披露を中心にします

平成22年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	いきいき ときめき 計算大会		
団体名	ICA 国際電卓協会		
事業費	231,070円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的
	中高年の脳の活性化に計算が良いと言われており、計算をを通じて若返りが出来ればよい。なお、この大会実施により、脳の活性化のため中高年の方が、そろばん・電卓等を学習したい方の支援活動に応援したい。
事業の目的・内容	内容
	中高年（60歳以上）による計算大会 競技方法はそろばん・電卓・筆算など何を使っても、参加可能。 問題内容は見取算・読上算・読上暗算

事業の活動実績	<ol style="list-style-type: none"> 1) 開催日時：平成22年9月12日（日）11時～16時 2) 開催場所：八王子商工会議所 4階大会議室（市内大横町11-1） 3) 参加資格：1部60歳～69歳・2部70歳以上 4) 参加費：500円 5) 参加者：65名（申込67名） 6) 競技内容：①見取算、②読上げ算、③読上げ暗算 7) 番外ゲーム：おつりの計算（自由参加） 8) アトラクション：奇術 9) 表彰式 <p>以上の通り、実施された</p>
---------	---



事業の成果・効果

この大会は、今回で4回目、中高年の若返りを目的に開催。参加資格は60歳以上の方で、市内を中心に最高齢84歳の方など65名が参加された。
 そろばん・電卓等を使って、たし算、ひき算、読み上げ算、読み上げ暗算に挑戦をいたしました。
 第一部（60歳～69歳）優勝者に市長賞が、第二部（70歳以上）優勝者に会頭賞が授与されました。
 各部門の優勝・準優勝は次のとおりです。
 第一部優勝 伊原嬉子 氏（八王子市内在住）・楠まり子 氏（市外在住）
 第二部優勝 柴崎康男 氏（八王子市内在住）・田中久子 氏（八王子市内在住）

中高年の皆さんが、計算を通じ脳の活性化を図るために実施した当大会も4年目を向かえました。
 昨年より寿段を次のように認定しております。1回目からの参加者に4段、3回目は3段、2回目は2段、初参加は初段。
 これにより、嬉しいことに、多くの参加者より大会が楽しみで来年も参加したい、これからも続けて欲しい、との声をいただきました。
 この大会を通じて、中高年のみなさんに元気を与えることが出来た大会であったと自負いたしました。
 なお、今回は八王子市平成22年度市民企画事業補助金から支援をいただき、事業運営の面で、軽減がなされた。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 参加者へ昼食とお茶を出すため、参加費徴収を行った。
	その他、評価すべき点等	今年も多くの中高年の方々に参加をいただきました。 計算を通じて、人と人の繋がりコミュニケーション図れた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開

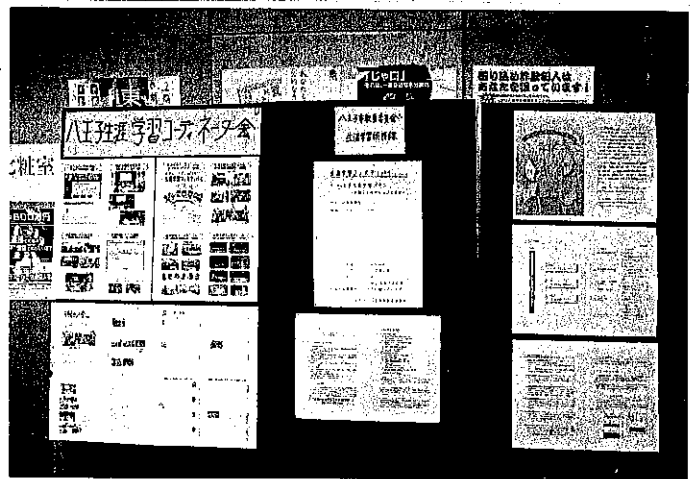
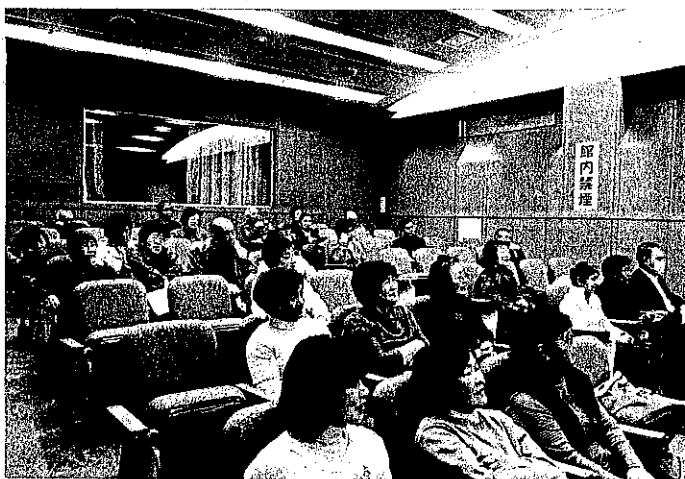
参加者の多くから来年も参加をしたい声に答えるために市民企画事業として継続をしたい。

平成22年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	生涯学習の集いインかわぐち		
団体名	八王子生涯学習コーディネーター会		
事業費	148,145円	補助金額	71,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>広範に渡る八王子市域において、各地域ごとにきめ細かく活動の展開をはかり、八王子市民の生涯学習を推進、サポートする活動の第1歩とし、広く市民に生涯学習への参加を呼びかけるチャンスとする。またこの機会を通して夫々の地域の住民組織や市民団体との一層の連携体制を構築することとする。</p>
	<p>内容</p> <p>川口やまゆり住民協議会の「子どもまつり・ひなまつり」の開催時期に合わせて、川口地域の拠点のひとつである八王子市生涯学習センター川口分館の視聴覚室において、地域住民を対象に1日集中方式で「ひなまつり童謡・唱歌の集い」「笑いの大研究」講座および学習相談、八王子の生涯学習のパネル展示等を実施した。</p>

事業の活動実績	<p>「生涯学習の集いインかわぐち」</p> <p>実施時期 平成23年3月4日(金) 13:00~16:30</p> <p>実施会場 八王子市生涯学習センター川口分館 視聴覚室とその周辺ロビー</p> <p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> * 第1部「ひなまつり 童謡・唱歌の集い」 13:30~14:45 (75分) 参加25名 ひなまつりと春にちなんだ童謡、唱歌全12曲を、歌詞の朗読、曲の解説を織り込みながら、歌唱のリード、キーボード、ハーモニカの伴奏により参加者全員で斉唱した。 * 第2部「市民講座・笑いの大研究」 15:00~16:15 (75分) 参加50名 八王子在住の社会人落語家三遊亭圓塾師匠を講師に迎え、日常生活における笑い、ユーモアの効用についてパワーポイントを駆使して楽しく判りやすく解説。 * 学習相談・生涯学習活動のパネル展示 13:00~16:30 相談7件、資料配布75件 視聴覚室周辺ロビーにおいて、八王子市教委学習支援課(生涯学習センター川口分館スタッフ)と協働で学習相談コーナーを開設し、「生涯学習窓口ガイド」を配布するとともに、市教委生涯学習総務課作成の「八王子生涯学習プラン」と八王子生涯学習コーディネーター会の活動紹介パネル展示をおこなった。
---------	--



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> * 今回の事業実施によって、これから市内各地域での生涯学習推進の大きな手がかりをつかむことが出来た。これまではクリエイトホールを拠点とした市の中心部に集中しがちの活動に対し、より広域的な市内各地域への活動展開のきっかけとなった意義は大きい。 * 「童謡・唱歌の集い」のような会場参加型のイベントが、今後の地域展開に有効的な催しとの実感を得た。 * 今回の学習相談は地元生涯学習センター川口分館のスタッフとの協働体制で臨んだが、この方式を基本として今後の各地域での実施当たり、さらに関連機関との連携を深めることが考えられる。 * 課題 地域の住民組織との連携を基本として当初から実施にむけて取り組んできたが、その重要性とそして同時にその難しさを痛感させる貴重な事前折衝の1年余であった。当初は地元主催事業との共催を目標としたが、度重なる折衝の結果は最終的には共催に至らず、地元の催し（ひなまつり）との同時期、単独開催となった。しかし、ここにいたる結果は住民協議会の大きな理解があつての結果として深く感謝するところであり、今後ともさらなる連携の可能性を模索して行く必要性を感じている。 地域住民組織との連携の構築は、今後の地域展開の最大の課題として続くものと認識している。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があつた 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 事業費の総額ではほぼ計画通りであるが、費目では実行委の開催が多くなったことで会場費、交通費が支出増となり、一方印刷製本費、謝礼報酬が支出減となった。
	その他、評価すべき点等	当初の目的とした各地域展開の第1歩としては、実施の手ごたえを十分に感じる事が出来て、川口地域での今後の展開の糸口が得られた。 一方、地元住民組織との連携強化は今後の継続課題としていく必要がある。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

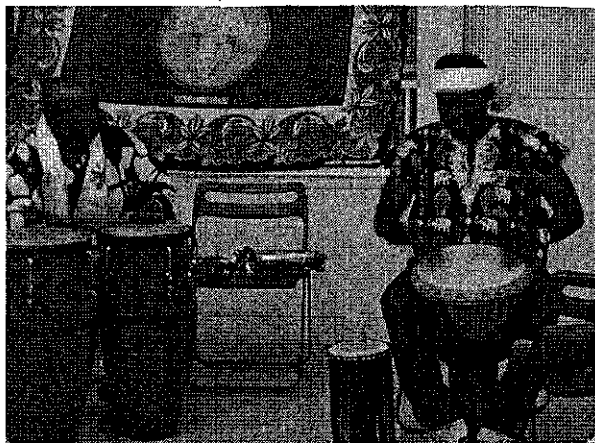
今後の事業展開	<p>上記の課題を踏まえつつ、今回の川口地区を第1段階として、今後別のエリアへの展開をはかることを目指す。次の対象地域としては南大沢地域（拠点；生涯学習センター南大沢分館）を目標に事前のアプローチを始めていく。また今後さらに各市内の市民センターを拠点とした地域展開の拡大をはかることとしたい。</p>
---------	--

平成 22 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	音楽療法による教育・子育て・地域支援事業		
団体名	特定非営利活動法人音楽療法NPOムジカトゥッティ		
事業費	401,549円	補助金額	200,000円

事業の目的・内容	目的 八王子地域においては近年、発達障害児の増加が見られ、子育てに悩む母親が急増している。 当NPOは全国に先駆け、音楽療法による教育・子育て・地域支援を実施してきた。高い専門スキルを有する講師陣による、継続的できめ細かい支援により、親子が心安らぎ、大切にされている実感を創出することを目的とする。
	内容 1. 親子音楽広場事業 2. ママセラピー事業 3. 音楽グループワーク 4. セミナー事業

事業の活動実績	1. 親子音楽広場事業 5/22 6/12 (北野市民センター) 7/28・8/4 (南大沢市民センター) 参加者：各回とも0 2. ママセラピー 5/25 (北野市民センター) 6/20 (学園都市センター) 7/29 8/5 (子安市民センター) 参加者：5/25 7/29 8/5 0名 6/20/2名 3. グループワーク 5/30 6/26 (クリエイトホール) 参加者：5/30 大人2名子ども2名(うち参加費徴収大人1名他はボランティアスタッフ) 6/26 大人1名 子ども1名 7/18 9/25 (南大沢市民センター) 7/18 大人3名 子ども2名 9/25 参加0 4. セミナー事業開催 8/7 (南大沢市民センター) 大人13名 子ども5名 1/30 (学園都市センター) 大人9名 子ども1名 乳児1名
---------	---



事業の成果・効果	<p>「音楽療法による教育・子育て・地域支援」は、全国的にみてもほとんど例のない専門的で先駆的な試みであるため、社会認知が進んでいない。現在の日本社会は、閉塞感にあふれ規制されており、その中でストレスをためこんだ人々が急増している。子育て中の母親や、障害をもつ子ども、その家族は、とりわけ困難をかかえているのが現実である。</p> <p>その支援は、専門的、社会的、統合的、学際的であることが求められるが、日本においては音楽を用いた幅広い支援の重要性の認識が低く、教育現場や行政への浸透もほとんどない状態である。そのため広報が十分に行き渡らず、集客に困難があった。まず、こうした取り組みの重要性を提言することが今回の事業目的ととらえ実施してきた。</p> <p>目に見えない音楽の効果は、教育の効果と同様、数値で容易に測定できるものではない。また解説することも困難であり、まずは参加し体験してもらうことから始まる。参加して初めて、音楽がいかにか心を解放し、人の心をつなぐものであるか認識してもらえたことは、大きな効果であったととらえている。</p> <p>誰もが参加できる場として開催したことで、障害をもつ子どもと家族の参加もあり、他の家族との交流に発展したことは、支え合う地域社会の実現に向けての第1歩として、考えられる。</p> <p>八王子市で開催したことが、他地区、(武蔵野市、日野市、立川市)などへ波及効果があったことは、大きな成果と考えられる。また、社会人類学、国際教育学などとの連携もでき、学際性が拡大できたことも成果ととらえている。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p> <p>途中で申請を修正し、概ね実施できた。</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった ③ 大幅に変更している</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>参加がなかなか見込めなかったため、大幅に縮小した。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>1. 新たなアプローチの提言を推進できたこと</p> <p>2. 他地区への波及効果があったこと</p> <p>3. 学際性の発展があったこと</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>1. タイムリーなプログラミングをしながら、事業を継続させていく予定。</p> <p>2. 明星大学、早稲田大学、成蹊大学、東京外国語大学等とも連携しさらにスキルアップを図る。</p>
---------	---

平成22年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	講演と視覚障害者音楽家による演奏会 21世紀の青少年へのメッセージ "未来への夢と努力と"		
団体名	東京八王子プロバスクラブ		
事業費	1,746,776円	補助金額	500,000円

事業の目的・内容	目的	東京八王子プロバスクラブ(第一線も退いた専門的職業人・実業人で構成、そのキャリアを活かした社会への貢献を目的とするクラブ)の創立15周年記念事業の一環として、次の内容のイベントを開催し、小中高校生を含む青少年とその保護者に対して"未来への夢と努力と"のメッセージを発信する。
	内容	平成22年10月17日(日)八王子市民会館において次のイベントを開催。 第1部 --- 講演:「宇宙の学校 宇宙と友達になろうー119歳の大切さと家族の絆ー」 講師 JAXA 技術参事、子ども宇宙未来の会 会長の 的川泰宣博士 第2部 --- 「君に届けたい愛のコンサート」--- 視覚障害者音楽家によるコンサート 掛屋剛志(ピアノ・パーカッション)、勝田友章と仲間たち(ヴォーカル、バイオリン、フルート、ピアノ)

事業の活動実績	次プログラムにより講演とコンサートを開催。
	<p>第1部 --- 講演:「宇宙の学校」--- 的川泰宣博士</p> <p>的川博士は、子供達に「宇宙と友達になろう」と呼びかけ、専門家の立場から、惑星探査衛星「はやぶさ」が7年の歳月をかけて小惑星「イトカワ」に到着して地球に帰還するまでの過程を分かり易く解説。 「幼い時の共感と感動が未来をつくる。一番大切な時期は、小学5年生頃。この時期が命を輝かせるチャンスと身につける変換期」と締めくくった。</p> <p>第2部 --- 視覚障害者音楽家によるコンサート</p> <p>① 掛屋剛志くんを聴いて --- ピアノ、パーカッション 曲目 --- 赤とんぼ、荒城の月、さくら、ダンボール・パーカッション、やぶる弱時代の ② 勝田友章と仲間たち --- ヴォーカル、バイオリン、フルート、ピアノ 曲目 --- 歌え! パン、童謡(うみぬがわの学校、やぶる五)、和風になつて etc.</p>

事業の様子または成果がわかる写真①



的川泰宣博士の講演

事業の様子または成果がわかる写真②



掛屋剛志君のピアノ演奏



36



ダンボール・パーカッション

事業の成果・効果	<p>第1部、第2部とも、所期の成果を収めたことと評価。</p> <p>すなわち、来場者間に「すばらしい講演、演奏」との評価が多く聴かれたところからも成果を自負している。</p> <p>第1部では、「はやぶさ」に関する種々のエピソードが興味を引き、また「小学5年生頃の感性も大切に」とのコメントも共感を呼んだように見受けられた。</p> <p>第2部では、身体的なハンディキャップにもかかわらず精進する音楽表現の姿勢が共感を呼び、涙ぐむ子供達の姿もみられた。とくに天使のような掛屋君の歌声に感銘し、演奏会後に多数の聴衆がCDを求めて売り場に集まる姿が印象的であった。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>① ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	<p>クラブ全員が各方面に手を回して集客を図ったが、最盛期の学校諸行事と競合し、ターゲットの小中学生の来場が期待をやや下回った点が残念であった。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>これまで、「生涯学習サロンの展開等によって一般市民向けの奉仕活動には、それなりの実績を挙げてきたと自負しているが、今回の事業を契機として、青少年指導の面にも活動の場を拓けるべく、目下具体策を検討中である。</p>
---------	---

事業名	地域学からみた八王子像		
団体名	八王子学会		
事業費	577,090 円	補助金額	200,000 円

事業の目的・内容	目的	総合的に八王子の過去・現在・未来を展望。幅広い視野で新しい地域のあるべき姿を提唱する。
	内容	歴史・地理・民俗・宗教・言語・比較文化等の視点で八王子像を描く。会員の研究成果、ワークショップの記録等を通じて得た成果を書籍として出版する。

事業の活動実績	<p>平成22年4月より、八王子学会会員が、各自の研究分野を決め、史・資料を蒐集、調査・研究を開始。</p> <p>5～7月にかけて、定例研究会で、各自の成果を打ち上げ、検討・討議を重ねる。</p> <p>8月には、単1稿を検討材料としてまとめる。</p> <p>9月にワークショップを「地域文化を考へる」「新しい視点で歴史開発、街づくり」の2つのテーマで開催。その記録を座談会形式に構成、11月までに原稿完成。</p> <p>10月に各自の原稿完成、編集にかかると。</p> <p>12月から3月にかけて、出版のためのデータ処理、校正、制作を進め、「地域の未来が見えるー地域学から視野が広がる」を刊行。</p> <p>発行部数は600部。今後図書館・自治体等へ寄贈する。</p>
---------	--

地域の未来が見える

ー 地域学から視野が広がる ー



平成22年度市民企画事業補助金交付事業

八王子学会10周年記念号

八王子学会

事業の成果・効果	<p>地域学により新しい視野・考え方を開拓、"子細より包括"をコンセプトに研究 成果を得た。その内容は①地域学による歴史観から、詳細な史料を掘り上げ 日本古代の謎の解明にいどみ、一定の成果を得た。②少子高齢化が進む現在です ます増加する高齢者が、いかに社会にとけこみ活動することかできるか、市民がどう取り組 んだかを考える。③グローバル社会に村本する国際交流の現状と今後の課題を検討する。 ④市民にはわかりにくい自治体の財政を、一般の家計にたとえて説明。さらに他地 域との比較で、八王子市の特色を掘き、あるべき都市像を描く。⑤人間生活にとりなが りにできない、合文化につき、郷土会との関連で、地域的持徴を指摘、今後の合生活 の姿をあるべきにつける。⑥民俗行事「入工記」にみられる史実から八王子の地名の由来と茅の行 行事の関連を述べ、研究のさらなる発展を促す。⑦民間による生涯学習の盛況振りを紹介と 来からの予定を採る。⑧幼少期の読書が将来にとりかには重要かを、各年齢層のアンケートを に分析、これからの読書運動についで提言。⑨書芸「破体書」の成立・発展の系譜を紹介、 書芸の理念の一端を述べる。⑩地域の活性化を促す「ブランド」の重要性と効果的な意義づけを提唱 ⑪八王子の地域振興に、高尾山を中心とした「石の心」の街づくり、「地域文化」の再見・再考の重要性を提記</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた (2) 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた (2) 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	(1) ほとんど同じ (2) 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 費目間で多少、金額のゆがみがある。
	その他、評価すべき点等	地域主催が盛えられる現代、身近な地域をまじ、他地域との 比較で、地域のあり方が強解できる。 史的展望を運じて地域の未来像を描けるきかけがつかれた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>本書の普及により、地域学が現代社会に有効な考え方を与えることをね げ、一層視野を拓け、地域再生・振興に寄与できる活動を推進する。</p>
---------	--

平成 22 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	『絆(～きずな～)の創造』コンサート		
団体名	八王子シティオーケストラ		
事業費	1,877,889 円	補助金額	755,000 円

事業の目的・内容	目的	核家族化が進み地域の交流が乏しくなりつつある多摩地区の少子高齢の問題に、福祉施設での奉仕演奏を重ねる中で生まれた楽団員の経験や思いを台本に織り交ぜながら、世代間の朗読形式の進行を取り入れたコンサートを企画し、これに自主的かつ明るく前向きに取り組むことで、八王子市民らしい生き生きとした日常を会場全体で共有し、ホールの外へとその活動を広げていくことを目的とする。
	内容	世代間の交流と地域の絆づくりの強化に、より現実感を持たせるため、偶然コンサートの客席に隣り合わせたシニアと子供とのさりげない会話という設定で朗読を織り交ぜながら、舞台背景と関連性の高い老若男女を問わず親しみのある選曲により進行し、笑いもあれば、時にしんみり感も漂わせ、徐々に『お互いがお互いを勇気づけられる存在だということ』を示唆していく。 朗読は世代相互に起きた小さな出来事の中から、希薄になりつつある地域の現状を舞台上で再現。お互いの抱える問題を素直に受け容れていく過程を重視し、絆を生み出すのは決して特殊な支援や専門的知識ではなく、私達一人ひとりに内在するささやかな気持ちにあるのだというメッセージを、深く心に沁み入る音楽と共に客席に印象つけていく。

事業の活動実績	H21.11～12月	ホール抽選会にて実施日時確定、譜面予約、次年度練習日程配布 【以降毎月二回の日曜日の午後13:30～17:00まで分奏と合奏。(個人練習は午前11時より開放)と、月1回の土曜日の午後18:30～21:00まで合奏、及び月1回の同時間帯の自主練習を主に市内の中学校の空き教室をおかりして活動。運営の実行委員会としては「チームぐるみ割り」を設置し、練習の30分前に集合し打合せを行った。】
	4.17	障害者福祉団体NPO法人『ふらっと』総会にて奉仕演奏(昭島市保健福祉センターあいぼっく)での告知
6.12・13	高野わくわくビレッジ合宿 (団内発表会、選曲検討、市民企画事業全体プレゼン及び朗読劇台本のデモンストレーション)	
7.12	『定期演奏会』いちょうホール(大)での告知、広告物デザイン打合せ、キャスト検討会	
9・10月～	台本班打合せ、キャスト及び外部奏者への契約依頼	
11月～	舞台及び搬入口・楽屋調整、広告物配布開始	
12月～	照明・音響、舞台打合せ、広報掲載	
12.16	キャスト読み合わせ及び舞台進行打ち合せ	
12.18	午前:みなみ野さゆり保育園クリスマスお楽しみ演奏会での告知 午後:本番前日練習(いちょう地下練習室)	
12.19	『絆の創造コンサート』いちょうホール(大ホール)午後7時開演 (その他に楽団の演奏活動として H21.12.26とH22.12.25に特別養護老人ホームもくせいの苑奉仕演奏と小編成のアンサンブルをいちょうホールのロビーコンサートにて3回実施)	

事業の様子または成果がわかる写真



事業の成果・効果

施設予約の抽選で落ち、舞台面でのリハーサルが一度も得られなかったこと、さらに連習会場としておかりしていた第二中学校が、耐震工事のため使用不可となってしまったことなど、想定外の事態も続いたものの、6月の高尾わくわくビレッジでの強化合宿を経て、個々の演奏技術の向上のみならず年間の活動目標を遂行する上で楽団全体での役割分担の重要性が再認識され、円滑な運営のための実行委員会「チームぐるみ割り」が結成され、新たな協力体制が生まれた。

調布市映画祭実行委員会様より演奏の打診もいただき、残念ながら今回は日数・経費の不足でご辞退せざるを得なかったが、これまでの福祉施設以外にも、本番前日に由井さゆり保育園さんとみなみ野さゆり保育園さんからも奉仕演奏のご依頼を受け、後者では有志によるアンパンマンのマーチやとなりのトトロなどを演奏し、大勢のお子様や保護者の方々に喜んでいただくことができた。

本番当日は師走の日曜の夜という時間帯にもかかわらず、会場内は未就学・就学児童の姿が普段に増して客席を占め、ご年配の方々はもとより700名超の観客動員の中、大変マナーも良くお楽しみいただけた模様。

アンケートの集計結果(別紙)は、回収230件、うち大変良かった163件、良かった56件、ふつう6件、つまらなかった0件、選択欄未記入感想あり4件、全白紙1件、うち95件の方から次回の演奏会の案内葉書の送付のご要望をいただくことができた。

朗読の配役への評価もとても高く、司会を含め音楽と楽団員、そして客席の皆様との関係性を温かく心地良いものにし、ご来場いただいた皆様に身近に感じていただくことができ、世代間の交流と地域の絆づくりの大切さを深く印象づけることに成功した。ご観覧後お客様の中にはご自身のホームページで絆の大切さを呼掛け本コンサートをご紹介くださった方もおられた。

さらに、本テーマを取上げたことに関して、多くのご意見や感想が寄せられ昨夏報道された孤独死や行方不明の高齢者問題等も相まって、年々希薄化しつつあるこの問題への関心の高さを如実に示す結果となった。

今回、市からの交付決定により、アマチュアの楽団ながらも、ささやかな気持ちと時間を持ち寄り理想とする調和を求めていくことは、数値化しにくいけれど意義のあることだと各々が実感し、それを皆で続けていくことが大きな力を生むという貴重な経験をさせていただいたので、今後も少しずつ成長しながらも、ほのぼのとした活動の輪を広げていきたい。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 施設予約の抽選により舞台面でのゲネプロ予約が一度も取れず本番に臨むという不安な状況であったが、その分の経費をホール地下練習室の使用料に充てて対処した。全体的な経費としてはアマチュア楽団として人件費を抑えつつ、外部奏者は構成員の1割を超えぬ枠内で実施することができた。 トレーナー謝礼を計上した。
	その他、評価すべき点等	学生から主婦、社会人からシニアまで幅広い層で構成されているこの団体自体が世代間の交流と地域の絆づくりの場であるといえる。今回の試みは演奏活動のみならず、地域との絆をホールの外へも広げ、新しい公共を自主的にめざす第一歩となった。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

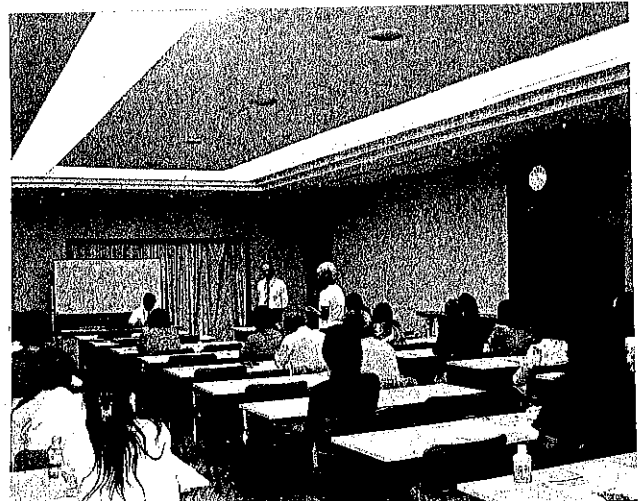
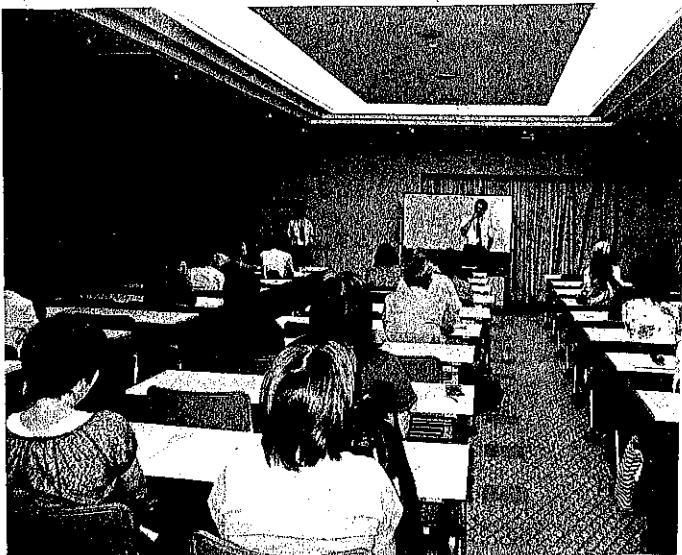
今後の事業展開	<p>オーケストラには音楽を通して様々な人々と調和の体験を同時に共有できる最大の魅力がある。世代間の交流と地域の絆づくりは今回限りで終わらせず持続すべきテーマとして取り組んでいく。</p> <p>近隣市とも広域的に活動を発展させるべく相互理解と信頼のある団体として、今後も福祉・教育・ボランティアに熱意ある団体とのコラボなど、機会をいただければ出来る限り協力しあいながら、情報提供や意見交換のみならず実践の中から着実な歩みを辿りたい。</p> <p>音楽の趣味を分かち合いつつ、広い層で構成された楽しい仲間たちという持ち味を活かし、八王子市民らしい生き生きとした明るい街づくりの一助となるべく、どなたにも喜んでいただけるぬくもりのある活動を目指していきたい。</p>
---------	---

平成22年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	障害者ケアサポートプラン [I 知的障害者]		
団体名	特定非営利活動法人 日本ウェルネット		
事業費	1,614,323円	補助金額	807,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>障害者が生涯に亘って自立し、社会参加や地域生活への移行、就労等の促進を支援するため、講演会、研修会等を開催し、家族と地域の障害理解の啓蒙と施設や事業所の責任者を含めた従業員のスキルアップを目的とする。</p>
	<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害児(者)家族と市民等を対象に障害の理解とノーマライゼーションを目的とした講演会を実施。 2. 作業所等障害児(者)支援従事者のスキルアップ研修を実施する。 3. 講演会・研修会参加者には、意識調査アンケートを実施する。 4. 知識障害に係る法人・団体・施設・専門家等とネットワークを構築し、相談支援を行う。

事業の活動実績	<p>22年6月6日：第1回 ノーマライゼーション講演会…38人参加</p> <p>22年6月20・27日：第1回障害者支援者養成研修…5人参加</p> <p>22年7月から心理職による当事者、家族の相談支援を行う。</p> <p>22年8月：広報統一チラシ配布…第2回セミナー・第2回支援者養成研修 第3回東京都知的障害者ガイドヘルパー研修</p> <p>22年9月12日：第2回ノーマライゼーション講演会…48人参加</p> <p>22年10月17・24日：第2回支援者養成研修…5人参加</p> <p>22年12月14日：講演『解離性障害入門』…74人参加</p> <p>23年1月：会報『ウエルネット』発行…市民企画事業広報</p> <p>23年1月30日：シンポジウム「知的障害者に求められる共感的理解」…30人参加</p> <p>* 23年2月4・18日予定の「第3回支援者養成研修」を3月25・27日に変更したが、3月11日発生の大震災により中止</p>
---------	--



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 当企画事業（プログラム）の参加者数について、延べ約300人を見込みましたが、合計243人の参加者数となりました。 各催事においては、アンケートにより参加者の感想と意識調査等を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> * 参加者は、障害者のご家族、福祉分野に関わりのある方が多かったが、「新しい学びがあった。」「障害者が地域で暮らしていけるよう協力したい」等々、セミナー参加により、事業の趣旨を理解いただけた多数の意見が寄せられた。 * 「解離性障害」における第一人者である岡野憲一郎氏の講演は、難しい内容をプロジェクターを使用しわかり易く説明、治療現場の事例等を紹介して、専門家も含め好評であった。 * 「シンポジウム」は、講師による基調講演に続き、当事業参加者の中からお願いしたパネラー（3名）の方に、障がいのある子どもを抱える家族（家庭）のあり様を発表いただいた。会場から、後ろ向きでない前向きのパネラーと講師に賛同と感動の声が寄せられた。 「支援者養成研修」は、専門的内容のため、参加者数が少なかったが、平成23年度から、東京都知的障害者ガイドヘルパー養成研修カリキュラムに組み込むことを発表し参加者に意見を求めたところ、この分野の学習の場がないとの賛意をいただいた。
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由（2、3と答えた場合のみ） ・「支援者研修」の実施日数、回数等内容の変更 * 研修日数等内容について、担当講師と協議し、2日間研修（当初3日間11時間（当初10時間×2名）とした。 * 2月実施予定を3月に日程変更したが東日本大震災で中止とした。
	その他、評価すべき点等	岡野憲一郎氏編『「解離性障害」入門』が8月に発刊され、当会名が解離性障害に対応可能な機関として掲載され、北は北海道から南は大阪まで、障害を抱える人から問い合わせ（6件）を受け対応を行った。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> 知的障害者、視覚障害者ガイドヘルパー・精神障害者ホームヘルパーの育成研修と修了者の就労を支援できるよう、自立支援サービス（ヘルパー）実施を検討準備する。また、研修に使用する冊子（講義レジュメ集）を作成使用する。（23年下期目標） 制度・サービスの理解と関係者（団体）交流を促進するため催事等を開催する。 障害者家族のための相談機能（相談員等）の充実を図る。
---------	--

平成22年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

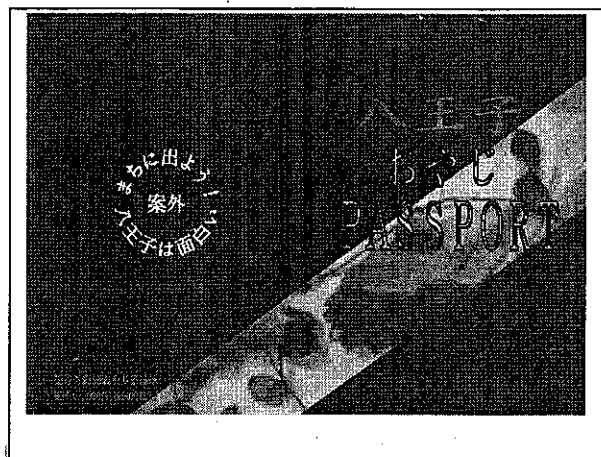
事業名	八王子おやじ旅券(小冊子)の発行		
団体名	創快おやじ倶楽部		
事業費	237,966円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的
	内容

八王子在住のシニア男性が八王子での充実したセカンドライフを過ごし、仲間を見出し、地域貢献、社会貢献へと創造的な活動に発展してもらうため、家から一歩出る足がかりとなる目的での発行。

八王子にあり、シニア男性にとって魅力的で、尚且つ社会貢献に寄与できる活動場所の発掘と紹介の為、手帳サイズの60ページ程度の小冊子を発行し販売する。

事業の活動実績	<p>八王子でのアクティブなシニア仲間を増やす活動を目指し、八王子市民塾一期生が卒塾する直前に結成した「創快おやじ倶楽部」。</p> <p>最初の活動として、シニアが第一歩を踏み出す時に必要な“きっかけ”を探し紹介する事業に取り組んだ。</p> <p>シニア、特に男性にとっての居場所探しからスタートしたが、商業ベースのお店紹介と近いものになってしまった為、見直すことに決定した。</p> <p>平成22年7月から集めた情報を様々なガイドブックと照らし合わせ取捨選択し、最終的な形に決定したのが1月になってしまった。</p> <p>お父さんお帰りなさいパーティでの紹介を目標にしていたので、ギリギリの完成となった。</p> <p>500部の発行目標だったが、初回の印刷は250部。</p> <p>残りの250部用の紙は確保してあるので、各会員の“営業”努力により増刷していきたい。</p>
---------	--



事業の成果・効果	<p>完成が年度末ぎりぎりになってしまったので、八王子おやじ旅券を発行したことによる成果・効果はまだ見えない。</p> <p>これからの我々の活動を通し、八王子おやじ旅券を宣伝するとともに、当初の目的であるシニアのセカンドライフへのスタートをスムーズにしていけるものと確信している。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 <input checked="" type="radio"/> あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p> <p>資金不足の為</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 <input checked="" type="radio"/> ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p> <p>発行が年度末ぎりぎりになってしまった為。</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 <input checked="" type="radio"/> 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>会員数の減少・予定していた他団体の助成金がキャンセルになった為。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>補助金が申請額の半分になったが、一応予定通りの発行ができた。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>今年度からは、八王子おやじ旅券でも紹介しているような、シニアの居場所づくりの活動をしていく。</p>
---------	---

平成22年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子現代家具工芸学校			
団体名	家具のまち八王子			
事業費	1,775,149	円	補助金額	750,000円

事業の目的・内容	目的
	内容

現在、日本には家具のデザインと製作を学べる場所が非常に少ないです。更に家具製作は難しいと感じ、興味を持っている人もどのように始めて良いか悩んでいる人もおります。家具製作のできる設備を揃えれば誰にでも家具製作はできると感じておりましたので、男女問わず色々な世代の方に気軽に家具作りを学べる学校を開校しました。売るだけではなく、学べる家具のまち八王子を目指しております。

・自らデザインした物を伝統的な技術と現代の技術を飽、鑿などの手道具と本格的な大型木工機械を用いて木製家具のデザインと製作技術を学ぶ学校です。

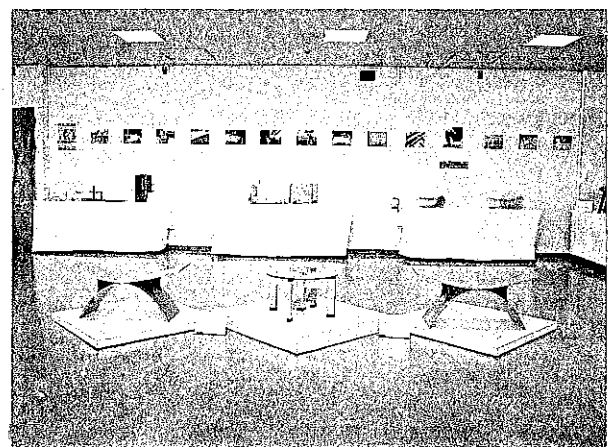
・家具製作に必要な環境：大型木工機械や作業台などを揃えて、生徒一人一人のレベルに合わせて指導を行う

事業の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週土曜日・水曜日を中心に20代～60代までの幅広い生徒達が家具のデザイン製作を学んでいます。 ・5月のGWに新宿リビングデザインセンターOZONEにて行われたクラフトマーケットに参加。学校開校のPRを行う。 ・7月、横浜ヴァージンフェスタに参加。 ・9月、村内ファニチャー内にてカンナを使った箸作り体験工房を開く。(約30名の方が体験) ・11月、いちょう祭りにて箸作り体験工房を開く。(2日間で約100名の方が体験) ・11月、八王子駅南口再開発イベントにて箸作り体験工房を開く。(約50名の方が体験) ・2月、村内ファニチャー内にて箸作り体験工房を開く。(約20名の方が体験) ・2月18日～28日まで村内ファニチャー内コミュニティースペースにて「八王子現代家具工芸展」を開く。 ・3月、お父さんお帰りなさいパーティーに参加。
---------	---

事業の様子または成果がわかる写真①



事業の様子または成果がわかる写真②



事業の成果・効果	<p>村内フェニチャー内や市内各地にチラシ配布と新宿や横浜での展示会、村内フェニチャー内やいちょう祭り南口再開イベントでのお箸作り体験工房などで「家具のまち八王子」・「八王子現代家具工芸学校」の認知度がとても高まりました。カンナを使った箸作り体験工房のイベントでは小学校の低学年くらいのお子様から70代くらいの人まで男女問わず非常に多くの方が楽しんで作っていらっしゃいました。</p> <p>これらの宣伝効果のおかげで生徒数も当初予定していたよりも多く入って頂きました。生徒は20代～60代まで幅広く近い将来に転職を考えて本格的にやっている生徒や趣味として楽しくやられている生徒と目的は色々です。2月に行われた学校の展示会「八王子現代家具工芸学校展」では生徒の作品が一般の方に2つも販売できました。</p> <p>新しい23年度には高校を卒業したばかりの人が本格的に学びたいと本校に入学してきました。その為、1年間の長期コースを作り、本格的な人材育成に取り組んでおります。少しずつではありますが学校として認められてきたと感じております。</p> <p>その他、「るるぶ八王子」、建築雑誌「住む」、毎日新聞、八王子経済新聞などで学校の紹介や展示会の取材などもして頂きました。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 <input checked="" type="radio"/> ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	<p>2月に作品全14点で学校の展示会を10日間開くことができました。その中の2点が一般のお客様が購入して下さったことは質の良い物を作っているからだと感じ嬉しく思っております。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今まで通り週1回のコースの更なる充実をはかり、同時に1年間の本格的な長期コースの生徒確保ができるように展開したいです。また、徐々に機械作業待ちも起きてきましたのでなるべく木工機械を2台体制にして待たずに作業ができるようにしたいです。</p>
---------	---

平成22年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	「知っていますか、長安を・・・」		
団体名	とんとんむかしの会		
事業費	299,365円	補助金額	149,000円

事業の目的・内容	目的	八王子城が落城した後、新しい町づくりのリーダーとして、八王子で活動した「大久保石見守長安」の人物像をクローズアップさせ、今一度、八王子の歴史を振り返る必要があると考えた上で、事業企画をたてた。
	内容	現在の八王子の町づくりの原点となった、大久保長安という人物を知らせる事業。「大久保長安」に関する講演会の開催や事業の調査研究をおこなう。

事業の活動実績	7月 3日、4日	朝顔市・パネル出店、不特定多数の市民に長安の事を知らせた。「大久保長安のことは、知らなかった」といいながら、熱心に話を聞いて下さった。語り部の会の応援を受けて、八王子の昔話を語りながら、江戸期の八王子の良さを知っていただいた。
	7月 10日	講演会「大久保忠隣。大久保長安を語る」(足柄歴史再発見クラブと当会との合同講演会) 100名以上の参加者。講演会の後、露木開成町長・大脇講師・足柄の人々に八王子城、長安伝承地を案内した。
	9月 24日	埼玉県比叡郡高麗陣屋跡を探訪。聞き取り調査
	11月 27日	足柄開成町訪問、酒匂川治水を見学。洪水直後の探訪であったが、江戸初期の治水技術の高さを知ることができた。午後：禹王サミットに参加。禹王とは中国の治水の神。
	12月 4日	長安伝承地と八王子の町歩きを行う。
	1月 14日	石見银山資料館仲野館長を、伝承地にご案内。喜んで帰られる。
	3月 5日	長安伝承地・町歩きの2回目を開催。熱心に皆さん勉強し、八王子の奥深さを実感されていた。。
3月 12日	大地震のため講演会中止を決める。参加者に連絡。会場にて対応。	



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>* 伝承地の案内資料を作成したことで、多くの人に具体的に長安と云う人物を伝えることができた。資料配布は、無料・有料含めて、800部を超えた。</p> <p>* 朝顔市で長安伝承地のパネル展示をしながら、大久保長安を紹介。語り部の会の 応援を得て、江戸期の八王子の物質、精神ともに豊かな町であったことを伝えた。</p> <p>* 7/10 「大久保忠隣と大久保長安」講演会。 足柄開成町長の露木順一氏と足柄の人たちと合同で講演会を開催。合同ですること、大久保長安の活動の広がり、長安と云う人物を具体的に知らせることができた。小田原ケーブルテレビの記者が参加して、講演会の様子を小田原で放映して下さった。八王子で準備できなかったのは残念であり、やはり長安が八王子の中で知られていないのだと実感した。参加者 103名</p> <p>* 12/4、3/5日と2回「長安の伝承地と八王子の町歩き」を企画した。伝承地すべてを歩く事が出来なかった。昼休み、産千代稲荷神社で、訪れることの出来なかった伝承地の説明をし、質問を受け付けた。100年以上続いている商店の店主から話を聞くことで、八王子の町の奥深さを知ってもらえたと思う。参加者2回で60余名。30名位が、歩くのに丁度いい人数。</p> <p>* 3/12 講演会は中止となったが、法政大学院教授馬場憲一先生が「大久保石見守長安と多摩」ということで資料を用意下さっているので、地震が落ち着いたところで再度講演会を開催し、参加希望者(130名余)の期待に応えたいと考えている。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 講演会を少なくし、市民とのふれあい(伝承地探訪やあさがお市のパネル展示)を増やしながら長安について伝えた。
	その他、評価すべき点等	1年前に比べ、長安の名前が浸透したと考えている。少なくとも知らなかった人に伝えることが出来た。寺や神社のご協力を得られたことは大きな成果だと考えている。この事業に共感し、八王子の町おこしをしたいと考える人たちが出てきたことを嬉しく、活動してよかったと思っている。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

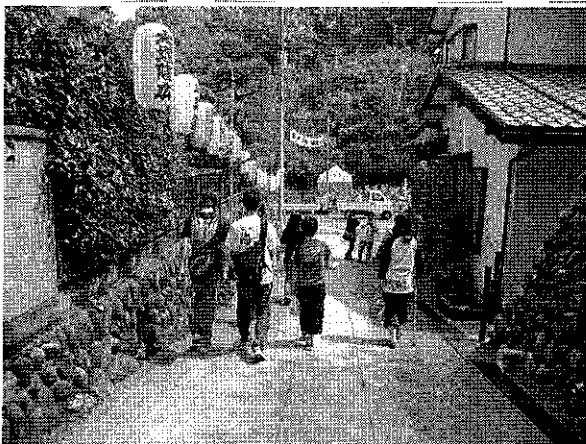
今後の事業展開	<p>広く同じことを考えている人々と、大久保長安の八王子での復権を考えていきたい。3年後は、長安歿後400年である。八王子で、全国の関係都市(佐渡、石見、伊豆、桐生、大和、岐阜、長野、小田原、甲府、多摩地方)と一緒にサミットし、市民による400年追悼遠忌が出来ないのか考えていきたい。伝承地に案内標識を立てることで、市民が親しみ、観光地としてつかえるように働きかけていきたい。たとえば、長安関係の土産物(菓子、資料、等)が出来ないのか関係者に提案してみたい。</p>
---------	---

平成 22 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	みなみおおさまイラストマップ		
団体名	南大沢を知ってほしい会		
事業費	1,036,831円	補助金額	400,000円

事業の目的・内容	目的 南大沢駅周辺地区の歴史や文化、その他の様々な情報を発信したい。八王子市内でありながら、市民にあまり認知されていない地区なので、南大沢駅周辺を市内全域の方々に大々的にお知らせしたい。そんな願いから多くの市民に愛されることを目的として、八王子の新しいキャラクター、「みなみおおさま」を創作しました。
	内容 京王相模原線南大沢駅を中心に、この地区の歴史や文化、公園や施設お店などの紹介・宣伝等をオリジナルキャラクターを活用してイラストマップを作成し、市民の方々に情報を提供そして楽しんでいただき、この地域の理解を深めてもらうことを目的としています。

事業の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 取材チーム、編集企画チームそれぞれ詳細な担当決定。 各担当ごと現地取材・撮影、地図起こし、イラスト・原稿製作。 全員参加の編集会議。 最終見本作成、校正・編集確認。 イラストマップ 2600 部印刷発注。 表紙、折り加工、製本 2600 部発注。 チラシ 500 枚・ポスター100 枚印刷発注。
---------	--



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地取材を通し、この地区の文化財・モニュメント・神社・公園が小さいところを含めると、予想以上に多いことが分かった。 ・ どれを載せるかでかなり削らなければならない苦勞をした。 ・ モニュメントなどの名称を関連先に問い合わせをしても答えを得られないことがあり、取材が行き詰ってしまった。 ・ フラワーフェスティバルのコンテナガーデン参加の際、みなみおおさまのキャラクターをお披露目できた。 ・ 今回のイラストマップに掲載できない部分をどうするべきか検討し、今後の活動の課題を見つけることができた。 ・ 地図の作成・印刷のノウハウを覚えることができた。 ・ マップの完成時期が計画通りに進まなかったため販売開始が遅れたので、まだ南大沢を大々的にPRできたという手ごたえを感じていません。 今後、市外に販売網を広げる、ホームページで販売することで全国へPRしていくことを始めています。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた ③ あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ) マップの完成が遅れたため、今年度中に販売実績が出なかった。
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) マップの完成が遅れたため、販売経費を使用しなかった。
	その他、評価すべき点等	今まで見過ごしていた場所などを改めて発見し、勉強することができた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今回の活動で取材したが掲載できなかった場所や店舗などのイラストマップ店舗編などの出版。</p> <p>南大沢地区を活性化するための新たなイベントを開催したい。</p>
---------	--

平成22年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	小中学生向け専門家養成講座およびコンテスト		
団体名	八王子学研究会		
事業費	460,744 円	補助金額	230,000 円

事業の目的・内容	目的 八王子学研究会のこれまでの実績をさらに発展させ、多種多様な成果を積極活用して、以下の小中学生向けに各種専門家養成講座を実施し、小中学生のスキルアップとともに総合的な学習のレベルアップを目的とする。
	内容 1) 小中学生記者養成講座 (記事企画力および文章構成能力の向上に寄与)、2) 小中学生写真家養成講座 (写真撮影能力およびPC活用能力の向上に寄与)、3) 中学生向けプレゼンテーション技法教室 (中学生の発表能力とPC活用能力の向上に寄与)、4) 小中学生向け八王子フォトコンテスト (質の高い生徒の研鑽および情報交換の場)、(以下震災のため中止) 5) 小学生向け「総合的な学習の時間フェスタ in 八王子」(質の高い総合学習の発表の場および情報交換の場、ポスターセッション版) 6) 中学生向け「総合的な学習の時間フェスタ in 八王子」

事業の活動実績	<p>八王子学研究会では以下の事業を実施した。8/19・23に1) 小中学生記者養成講座を実施した。7/16及び8/20・21に2) 小中学生写真家養成講座を実施した。9/25,10/21に3) 中学生向けプレゼンテーション技法教室を実施した。2010年秋に4) 小中学生向け八王子フォトコンテストを実施し、16件の応募を得て、12/4に表彰式を行い、優秀作品5点を表彰した。3月末に実施をする予定であった、5) 小学生向け「総合的な学習の時間フェスタ in 八王子」および、6) 中学生向け「総合的な学習の時間フェスタ in 八王子」において、小学生向けに八王子市内の総合的な学習の調査を実施するとともに、小学生向けの八王子川環境カルタ(他団体との連携事業)を作成し、中学生向けには、市内の総合的な学習の調査を行ったが、実施については今回の震災のため中止とした。</p> <p>以上により、総合学習の講師として新しい試みを実施し、小中学生のスキルアップに役立った。小中学生に対して、写真の撮影法、記事の取材法、新聞の作成法、そして作成した新聞の発表法について学習を行い、個人レベルではかなりのレベルアップが図れた。また、スキルアップの結果を発表する場として、フォトコンテストを実施し、小中学生の優秀な作品が応募され、優秀作品を表彰した。もうひとつの発表の場としての「総合的な学習の時間フェスタ in 八王子」は今回の震災のため中止としたため、学校単位・グループ単位での発表の場の機会を設定することができなかった点は反省材料である。</p>
---------	--

たり、植物や史跡などを見ながら歩きました。お天気はよく、とても暑い日でしたが木陰に入ると涼しさを感じられ、さわやかな風と共に気持ちのよい取材をする事ができました。



小仏バス停で、鉄本橋より木日のコースと見どころについて事前に説明していただきました。



JR高尾駅の強樹 駅の中では天狗のお面にお出迎えてもらいました。

宝珠寺では、観音様が首を隠しいお顔を迎えてくれました。宝珠寺には都の天然記念物の「カゴノキ」の大樹がありました。高尾は古い街道で、いろいろな史跡などがたくさんありますが、樹木も多く自然の豊かさを感じました。



歴史の話を伺った駒木野野郎の広場ではこのあたりの人達がお祭りの準備をしていました。...



高尾の黄色い花に止まっていたチョウ 見たことのない花の名前を覚えてもらえて、面白い花(アリの甲から出てくる花など)を見られて、面白かった。



見たことのない花

川の石の裏にカニがいて、高尾の石垣にカニへびがいた。生き物の姿(バッタ、カニ、チョウ、など)を写真で写せて楽しかった。



川の石の裏にいたカニ



アリの甲から出てくる、見たことのない花

事業の成果・効果	<p>H21年度は、企業や団体からの後援を受けるとともに、八王子市教育委員会の後援を受け、第1回八王子フォトコンテストおよび第1回八王子検定を実施した。H22年度も引き続き、これらの事業を実施しながら、今回申請した、小中学生向けの事業を実施した。</p> <p>八王子学研究会のメンバーが中心となって講座の企画・運営・講師・アシスタントを実施した。また講師については適材適所で外部講師を利用することもあった。</p> <p>7/16 2) 小中学生写真家養成講座 6名参加 8/19 1) 小中学生記者養成講座 7名参加 8/20 2) 小中学生写真家養成講座 7名参加 8/21 2) 小中学生写真家養成講座 15名参加 8/23 1) 小中学生記者養成講座 6名参加 9/25,10/21に3) 中学生向けプレゼンテーション技法教室 5名参加 9/25,10/21に3) 中学生向けプレゼンテーション技法教室 5名参加 2010年秋に4) 小中学生向け八王子フォトコンテストの募集 16件の応募を得て、12/4 4) 小中学生向け八王子フォトコンテスト表彰式 優秀作品5点を表彰した。 12月以降、八王子そごう、八幼児夢美術館、他で優秀作品の展示を行った。 3月予定(中止) 5) 小学生向け「総合的な学習の時間フェスタ in 八王子」 八王子市内の総合的な学習の調査を実施 小学生向けの八王子川環境カルタ(他団体との連携事業)を作成 3月予定(中止) 6) 中学生向け「総合的な学習の時間フェスタ in 八王子」 八王子市内中学校の総合的な学習の調査を実施 学校単位・グループ単位の発表の場としての「総合的な学習の時間フェスタ in 八王子」は今回の震災のため中止としたため、学校単位・グループ単位での発表の場の機会を設定することができなかった点は反省材料である。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ) 最後に実施する生涯学習フェスタの実施において、準備及び資料の作成はできたが、実施は震災の時期で中止になった。</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ) 最後に実施する生涯学習フェスタの実施において、準備及び資料の作成はできたが、実施は震災の時期で中止になった。</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ) 最後に実施する生涯学習フェスタの実施において、準備及び資料の作成はできたが、イベントの実施は震災の時期と重なり中止になった。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>本申請と関連した事業である「第2回八王子検定(中学生版)」を3月末に実施し、元八王子中 117、川口中 117、第五中 88、松木中 178 合計 500名の受験者を得た。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>今後は、さらに各種事業の実施を通じて、市内の小中学校で実施する総合的な学習に役立てて行きたい。また2011年度には今回実施できなかった総合学習フェスタを実施していく予定である。</p>
---------	---